

みえスタディ・チェックの結果（概要） 対象は1・2年生

本年4月18日に実施した「みえスタディ・チェック」の結果を、7月の個別懇談会で1・2年生の各生徒に返却しました。

「みえスタディ・チェック」は、児童生徒に確かな学力を育むため、三重県教育委員会が実施している学力テストで、県内の小学校4・5年生と中学校1・2年生が対象となっています。実施教科は、国語、算数・数学、理科で、前年度の学習内容の中から、主に知識を「活用」する問題が出題されています。

学校では、三重県教育委員会による県全体の分析結果を踏まえ、本校と県全体の問題別の平均正答率や無解答の状況を比較するなどして、これまでの学習活動の成果や課題の分析を行いました。今後、この分析結果を踏まえ、各学年、各教科の指導の充実に努めます。

以下に、学年別の結果の概要を掲載しましたので、各ご家庭では、7月に配付した「個人票」と合わせてご覧いただき、お子様の頑張りを認め、課題を克服できるように励まし、家庭での学習習慣や生活習慣の見直しにつなげていただきますようお願いいたします。

みえスタディ・チェックについて

- ◆目的：児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ◆実施日：平成29年4月18日（火）
- ◆対象：三重県の小学校4・5年生、中学校1・2年生
※同日、全国学力・学習状況調査が、全国の小6、中3を対象に実施されました。
- ◆教科：国語、算数・数学、理科
- ◆内容：前年度までの学習で身に付けた知識・技能を活用する力を問う内容
- ◆その他：平成30年1月31日（水）に、小5、中2を対象として第2回目が実施されます。
教科は、国語、算数・数学、理科です。

1年生の結果（概要）

1年生全体の結果は、表1-1のとおりです。また、各教科の問題別の平均正答率について、本校と三重県とを比較すると、表1-2のとおりとなります。

（表1-1）平均正答率の比較 [1年生]

教科（問題数）	城田中	三重県	差
国語（21問）	55.2%	62.6%	-7.4
数学（16問）	60.3%	64.8%	-4.5
理科（20問）	46.5%	47.3%	-0.8

- ※ 各教科の問題数は、国語が21問、数学が16問、理科が20問であり、平均正答率は、平均正答数（生徒が正解した問題数の平均）を問題数で割った値をパーセンテージで表しています。
- ※ 「差」の欄の数値は、城田中の平均正答率から三重県全体の平均正答率を引いた値です。

（表1-2）問題別の平均正答率に関する本校と三重県との比較の状況 [1年生]

教科（問題数）	三重県の平均正答率との比較	問題数	差が5ポイント以上10ポイント未満の問題数	差が10ポイント以上の問題数
国語（21問）	三重県を上回る	5問	2問	—
	三重県を下回る	16問	2問	8問
数学（16問）	三重県を上回る	5問	2問	—
	三重県を下回る	11問	3問	5問
理科（20問）	三重県を上回る	11問	1問	2問
	三重県を下回る	9問	2問	2問

- ※ 上の表は、問題別の平均正答率について、城田中と三重県全体とを比較した結果を示しています。
- ※ 問題別の平均正答率は、正答の生徒数を全生徒数で割った値をパーセンテージで表したものです。
- ※ 各欄の数値は問題数を表しています。「—」は該当する問題がないことを表しています。

◇ 国語、数学、理科の各教科で三重県の平均正答率を下回っています。教科別には、国語、数学は、三重県の平均正答率との差がそれぞれ－7.4ポイント、－4.5ポイントとなっており、課題が見られます。理科については、差が－0.8ポイントで概ね県平均並みと見ることができます。

今後、特に国語、数学で定着できていない学習内容について、授業や家庭学習で振り返りの学習を行うことが必要です。

○ **国語**の問題数は21問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は21問中5問、下回っている問題は16問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ2問です。また、「1二1・2」「1四イ」「1六3・4」「3一」「3二」「4三」の8問については、10ポイント以上県平均を下回っており、問題を解き直して理解と定着に結び付けるとともに、文章を読み取る力、文章の内容を要約したり、自分の意見を書いたりする力を身に付けることも大切です。

※1二1・2：文脈に即して漢字を正しく書く問題〔解答は、背景/設ける〕（短答式）

※1四イ：文の中での主語と述語の照応について考え、主語を選択する問題（選択式）

※1六3・4：二字の熟語の構成を理解し、同じ構成を持つ熟語を選択する問題（選択式）

※3一：説明的な文章で、段落相互の関係を表した適切な文を選ぶ問題（選択式）

※3二：説明文の要旨を書く問題で、筆者の言いたいことを、条件に従ってまとめて書く問題（記述式）

※4三：複数の資料を読み取り、与えられた条件に従って自分の考えを書く問題（記述式）

○ **数学**の問題数は16問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は16問中5問、下回っている問題は11問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ2問、3問です。また、「1(1)・(4)」「2(1)」「4(2)」「5(2)」の5問については、10ポイント以上県平均を下回っています。

※1(1)：整数において、加法と乗法の混合した式の計算をする問題（短答式）

※1(4)：小数の計算で、乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係を表した正しい文を選ぶ問題（選択式）

※2(1)：測定値（5日間の保健室の利用人数）から、平均（1日の利用人数の平均）を求める問題（短答式）

※4(2)：示された三角形や台形の面積の求め方を基に、新たな台形の面積の求め方を考え、その方法を数学的に説明する問題（記述式）

※5(2)：5月と8月のハンバーガーの売り上げ額について比較した文章が正しくない理由を、グラフから数量を読み取り、基準量・比較量・割合の関係から論理的に説明する問題（記述式）

○ **理科**の問題数は20問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は20問中11問、下回っている問題は9問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ1問、2問です。また、県平均を10ポイント以上上回っている問題は2問（1(1)、4(1)）、10ポイント以上下回っている問題も2問（2(1)、4(4)）です。

※2(1)：必要な量の水をはかり取る実験器具の名称を、図を見て答える問題（短答式）

※4(4)：モデルを使った実験結果を基に、月の満ち欠けと地球から見た月と太陽の位置関係の変化を関係付けながら考察して、ボールの光が当たった部分の形に対応するボールの位置を答える問題（選択式）

2年生の結果（概要）

2年生全体の結果は、表2-1のとおりです。また、各教科の問題別の平均正答率について、本校と三重県とを比較すると、表2-2のとおりとなります。

（表2-1）平均正答率の比較〔2年生〕

教科（問題数）	城田中	三重県	差
国語（16問）	68.9%	67.6%	+1.3
数学（18問）	46.6%	47.2%	-0.6
理科（20問）	48.3%	45.8%	+2.5

※ 各教科の問題数は、国語が16問、数学が18問、理科が20問であり、平均正答率は、平均正答数（生徒が正解した問題数の平均）を問題数で割った値をパーセンテージで表しています。

※ 「差」の欄の数値は、城田中の平均正答率から三重県全体の平均正答率を引いた値です。

(表 2-2) 問題別の平均正答率に関する本校と三重県との比較の状況 [2年生]

教科 (問題数)	三重県の平均正答率との比較	問題数	差が5ポイント以上10ポイント未満の問題数	差が10ポイント以上の問題数
国語 (16問)	三重県を上回る	9問	2問	2問
	三重県を下回る	7問	1問	3問
数学 (18問)	三重県を上回る	10問	4問	1問
	三重県を下回る	8問	2問	3問
理科 (20問)	三重県を上回る	11問	2問	5問
	三重県を下回る	9問	2問	1問

※ 上の表は、問題別の平均正答率について、城田中と三重県全体とを比較した結果を示しています。
 ※ 問題別の平均正答率は、正答の生徒数を全生徒数で割った値をパーセンテージで表したものです。

◇ 国語、理科については、三重県の平均正答率をそれぞれ、1.3ポイント、2.5ポイント上回っており、学年全体として、前年度までの学習内容の定着について良好な状況が見られます。数学については、三重県の平均正答率を下回ってはいるもののその差は0.6で、学習内容の定着状況は概ね県平均並みと見られます。また、数学と理科については、平均正答率が三重県同様50%未満です。

今後、各教科の正答率が低い問題を解き直して、学習内容の理解と定着を図ることが大切です。

○ **国語**の問題数は16問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は16問中9問、下回っている問題は7問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ2問、1問です。また、県平均を10ポイント以上上回っている問題は2問(1三イ、2二)、10ポイント以上下回っている問題は3問(1五、2三、4二)です。

※1五：示された文中に使われている表現の技法を答える問題(選択式)

※2三：「新生を迎える会」についての話し合いの文章を読み、条件に従って自分の考えを書く問題(記述式)

※4二：小説を読み、登場人物の心情を捉え、条件に従って朗読の仕方工夫とその理由を書く問題(記述式)

○ **数学**の問題数は18問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は18問中10問、下回っている問題は8問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ4問、2問です。また、県平均を10ポイント以上上回っている問題は1問(5(1))、10ポイント以上下回っている問題は3問(1(2)、2(3)②、2(4))です。

※1(2)：文字式に数を代入して、式の値を求める問題(短答式)

※2(3)②：展開図が示された四角すいで、1つの辺とねじれの位置にある辺の数を答える問題(短答式)

※2(4)：底面が合同で高さが等しい円すいと円柱で、円すいの容器いっぱいの水を円柱の容器に移した時、どの目盛りまで水が入るかを答える問題(選択式)

○ **理科**の問題数は20問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は20問中11問、下回っている問題は9問です。この内、県平均と5ポイント以上10ポイント未満の差がある問題は、それぞれ2問です。また、県平均を10ポイント以上上回っている問題は5問(1(4)、2(2)(3)、3(3)、4(5))、10ポイント以上下回っている問題は1問(3(1))です。特に、この1問については、平均正答率自体も12.7%(県は23.1%)と低くなっています。

※3(1)：1%の重曹の水溶液を作るとき、混ぜる水と重曹の重さの正しい組み合わせを答える問題(選択式)